

プログラム1 「釈尊の教えと親鸞聖人の教え」

学部等名	教育学部 外国語学部 看護学部 短期大学部
目的	仏教（特に浄土真宗）の教えを学び、仏教的人生観の確立を目指す。
プログラムの概要	本プログラムは、仏教に関心のある社会人を対象に、仏教（特に浄土真宗の教え）を学び、仏教的人生観の確立を目指すことを目的として、大乘仏教の精神を建学の精神とする岐阜聖徳学園大学の開講科目の受講を通して、釈尊の教えや浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の教えを学び、一人一人の受講生の人生観を探るカリキュラムを提供するものである。
プログラムの総時間数	90 時間
修了に要する時間数	90 時間
定員	10 名
修了要件	4 科目すべてを履修すること
申込先	羽島教務課(羽島キャンパス 7 号館 1 階)
履修料	総額 25,000 円(検定料 5,000 円 科目履修料 2,500 円×8 単位) ※再履修する場合はそれぞれの単位数に相当する金額が必要です。

修了要件受講科目一覧

授業科目名	宗教学 I	担当教員名	蛭川 祥美、河智 義邦
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	必修科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	前期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】 宗教について概観した上で、本学の建学の精神である仏教精神についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>【授業の概略】 現代社会には、実にさまざまな宗教が存在しているが、真実の宗教とは、人としての生き方・あり方を示し、日々の生活の中で直面する悩みや苦しみを乗り越えさせるはたらきをもつものである。本講義は、世界宗教や各地の民族宗教を概観することよりはじめ、特に仏教精神を学ぶ。本学の建学の精神である仏教精神は、インドのカースト制を否定するなど、生命の平等性を示すものであり、「縁起」、「諸行無常」などの思想によって、生命のつながりとはかなさを知らせ、その尊厳性を示すものである。これらを学ぶことは、人類共通の「生命とは何か」といった命題の答えを探ることにもなる。</p>		
授業科目名	仏教の生命観	担当教員名	蛭川祥美
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	岐阜キャンパス	必修・選択	必修科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	後期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】 「なぜ命は尊いのか」というテーマに、仏教思想を参照しながら、受講生一人ひとりが考察できるようになることを目標とする。</p> <p>【授業の概略】 古来より人類が探求してきた「生命とは何か」というテーマについて、諸宗教や科学思想などを概観することより始め、特に仏教思想における生命観を中心に考察する。</p>		

授業科目名	真宗概論	担当教員名	河智義邦
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	必修科目
単位数	2 単位 (¥5, 000)	開講期	
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】 浄土真宗本願寺派僧侶・教師資格を取得することを目標に講義する</p> <p>【授業の概略】 真宗とは、日本中世・鎌倉時代に親鸞が明かした「浄土真宗」の略称である。一般的には宗派（団体）の名前として認識されているが、この名称には「浄土（教）の真実の宗・趣旨（教え）」という意味があり、親鸞自身は多くは後者の意味で使用していた。その意味において、真宗（浄土真宗）を学ぶとは、浄土真宗という宗派のことについて学ぶことに主眼があるのではなく、親鸞が「大乘（仏教）の中の至極」と明かしたその教義を学ぶことにほかならない—無論その歴史展開（親鸞の思想を各時代において解釈していく営み）として成立する浄土真宗教団（宗派としての浄土真宗）についても触れるが、ここでは、親鸞その人の思想を中心に窺う—。</p>		
授業科目名	仏教概論	担当教員名	蜷川祥美
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	必修科目
単位数	2 単位 (¥5, 000)	開講期	前期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】 インド・中国・日本の仏教思想の特徴について、宗派の歴史と教義を中心に理解する。</p> <p>【授業の概略】 インド仏教、中国仏教、日本仏教の特色を概観した上で、三論宗（成実宗）、法相宗、俱舍宗、律宗、華嚴宗、天台宗、真言宗、禪宗（臨済宗、曹洞宗、黄檗宗）、日蓮宗、浄土宗、時宗の歴史と教義について理解する。映像資料を視聴し、ディスカッションをも行う予定である。</p>		